

紀北分院外来診療医担当表

	月		火		水		木		金	
	AM	PM	AM	PM	AM	PM	AM	PM	AM	PM
総合診療	2診		総合診療 廣西	糖尿病外来 河井	糖尿病(循環器) 羽野	糖尿病 廣西	認知症センター 廣西	(認知症センター) 廣西	糖尿病(循環器) 羽野	
	3診	糖尿病外来 河井		呼吸器 柴木		泌尿器外来 藤井	肝臓 佐藤 ※再診のみ		リウマチ膠原病 藏本 (2-4週)	
	4診		皮膚科 神人(1-3-5週) 加山(2-4週)	脳神経内科 梶本	脳神経内科 梶本			皮膚科 稻田(1-3-5週) 中塚(2-4週)	認知症センター 梶本	
	新患5診	柴木		川口		応援医師		千田		寒川
	外科診							櫻井 [第3週を除く]		
脊椎ケアセンター	6診	脳外 大岩	認知症センター 大岩		脳外 上野 [第1週]	脳外 大岩	脳外 大岩		脳外 大岩	
	7診	整形外科 延興		整形外科 中川	足の専門外来 浅井(奇数週)	整形外科 前田	整形外科 延興		整形外科 中川	
	8診	整形外科 玉井		整形外科 原田		整形外科 玉井	整形外科 原田		整形外科 前田	
眼科	1診	石川	安武	岡田	稚賀 岩西 住間 西 安田 [第1週] [第3週] [第4週] [第5週]	永井	子ども外来 石川	小門	石川	岡田 術前外来
	2診	安武 (永井)		黄斑外来 小門	安武	石川		永井	小門	
小児科		青柳	樋口		青柳	青柳	青柳		青柳	
リハビリテーション科	幸田		幸田			幸田		幸田		
	南方			南方	南方	南方	南方	南方	南方	

診察受付 月曜日～金曜日：8時45分～ 再診で予約のある方は指定時間（予約表の記載時間）

*当院は原則すべての診療科で予約制となりますので、来院前に予約センターへ電話での予約をお願いします。

紀北分院 予約センター（受付時間 8時45分～15時）

TEL 0736-22-4600

紀北分院 認知症疾患医療センター 診療予約・介護相談（受付時間 9時～17時）

TEL 0736-26-3004

最新の情報は紀北分院ホームページにも記載しています。

令和5年1月1日現在

和歌山県立医科大学附属病院 紀北分院 広報誌



あじさい

vol.42
2023

令和5年 新年のご挨拶



分院長
廣西 昌也

新年をむかえ、地域の方々にひとことご挨拶申し上げます。新型コロナウイルスの状況も刻々と変化し、変異株の出現、繰り返すワクチン接種、入院基準の変更や自宅待機、あるいは治療方法などについてもめまぐるしく変化がありました。

私たち医療者もそうでしたが、地域の方々も錯綜する情報などに右往左往したこと也有ったのではないかと思います。

幸い我々の実感としても、あるいは論文のデータからも重症

化のリスクは最初の頃に比べると数分の1以下になっており、当初ほどの不安はなくなってきたことは確かです。

しかしながら、新型コロナに対する嫌悪感のようなものは染みついたものがあり、今後感染症としての扱いが2類相当から5類になるなど、もう対応方法がゆるやかなものになったとしても、感情的に普通の風邪のような扱いにはすぐに移行しづらいかもわかりません。

いずれにしても正確で根拠のある情報を入手しつつ、現実的な対応を探っていきたいものです。

病院としても現在一部制限されている入院ベッドを、新型コロナ以前のものに早く戻していくところです。

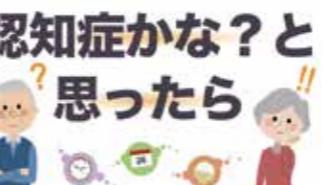
紀北分院は平成22年に新病院になってから既に12年以上が過ぎました。

病院の機器も古くなってきており、順次新機材を導入しており、最近では、電子カルテやCTスキャンの機器を最新のものに入れ替えました。

日本社会全体、あるいは周辺地域においてさらに超高齢化がすすむ中、国を挙げて地域医療の充実が叫ばれておりますが、当院では整形外科や眼科において最新治療の機器や治療法を導入し、また在宅医療のような、より地域の方々に寄り添ったサービスも開始いたしております。

今後もりハビリテーション機能や地域のニーズに対応した外来機能などを充実させ、よりお役に立てる紀北分院を運営してまいりますので、地域のみなさまのご理解とご協力を引き続きよろしくお願い申し上げます。

■ 認知症疾患医療センターのご案内



- 物忘れが気になる
- 認知症かもしれない
- 認知症に効果のある薬について聞きたい
- 最近意欲が無くなってきた

- 精神的に不安定になってきた
- 家族が介護する中で困っていることがある
- 認知症の治療を行う病院の情報が欲しい

認知症に関する受診や相談を受けています

希望される方はまずお電話ください

相談専用
ダイヤル 0736-26-3004

【受付時間】 平日：9時00分～17時00分

【掲載内容】

- ・新年のご挨拶
- ・白内障について
- ・認定看護師のご紹介
- ・職業体験
- ・令和4年度医学教育等関係業務功労者表彰の受賞
- ・外来診療医担当表
- ・かるて師匠の健康高座



和歌山県立医科大学附属病院 紀北分院 分院長 廣西昌也

〒649-7113 和歌山県伊都郡かつらぎ町妙寺219

TEL 0736-22-0066 (代) FAX 0736-22-2579



2023年1月発行

令和4年度 第1回紀北健康講座

健康を学ぼう
おしゃべりドクター！

白内障について



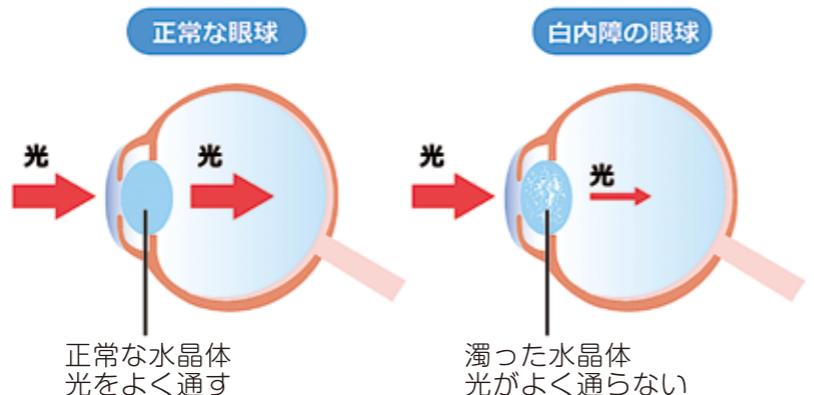
紀北分院眼科
岡田 由香 教授

加齢とともに見えにくくなる（視力低下）ことは多くの方が経験され、近くが見えにくい老視（老眼）や白内障、緑内障、黄斑変性など様々な病気が多くなってきます。中でも一番多いのが白内障です。高齢化が進む紀北地域では多くの白内障患者さんがいらっしゃいます。

白内障は眼の中の水晶体というレンズ部分が濁り視力低下が起こる病気です。初期には視力低下だけでなく、かすみや光が眩しい（羞明）といった症状が起こります。

白内障の多くは加齢に伴い起きますが、糖尿病などの全身疾患、ステロイドなどの薬剤、眼球打撲などの外傷が原因となることもあります。稀ですが先天性（生まれた時から）の白内障もあります。

高齢の方が見えにくくなると、歩いたり、家事をしたり、新聞やテレビを見たりすることが難しくなり、行動範囲が狭くなってしまいます。ご飯を食べるにも、野菜やお魚、お肉の形や色がわかりづらいと、美味しく食べられないということもよくあります。そのため認知症を進行させる原因の一つになるとを考えます。



治療法としては、目薬は初期の進行を遅らせるものしかなく、低下した視力を回復させるには、手術が必要です。方法としては、水晶体はカプセルの形をしているので、そのカプセル内の濁りを超音波で碎いて取り除くのが主流になっています。2~3mm程度の切開ですみます。しかし白内障は進行し過ぎてしまうと、超音波では歯が立たないので1cm以上大きく切開して濁りを取り出さなくてはならなくなります。水晶体を取り除くとピントが合わなくなってしまうので、濁りを取り除くためカプセル内に眼内レンズというレンズを入れてピントを合わせるのが一般的です。保険適用内では、遠くまたは近くの1つの焦点に合わせるレンズが一般的です。また、保険適用外の選定医療になりますが、遠くにも近くにも中間の距離にでも焦点が合う多焦点レンズもあります。

手術は紀北分院で、入院または日帰りで、局所麻酔（点眼や注射）で短時間でできますので、目が見えにくく感じられたら、眼科を受診してください。

■ 認定看護師のご紹介

緩和ケア認定看護師 山本 真由



緩和ケアとは、「生命をおびやかすような病気に伴って起こるさまざまなつらさを予防し、和らげるケア」です。緩和ケア認定看護師には、緩和ケアが適切に提供されるように働きかける役割があります。また、つらさを抱える患者さんの思いを聴くことで、患者さんやご家族の希望を尊重したチーム医療が効果的に機能するように調整を行います。

患者さん・ご家族のつらさを和らげ、望む場所で過ごせるようにサポートします☆

身体面でのつらさ

いたみ・呼吸困難・倦怠感・食欲不振・便秘などの症状に対し、つらさを和らげる方法を検討し、提供します。

精神的なつらさ

不眠・きもちの落ち込み・いらだちなどの精神的な症状に対し、つらさを和らげる方法を検討し、提供します。

こころ・きもちのつらさ

病気になったことによるこころやきもちのつらさを充分に聞くことで、対処方法と一緒に考えます。

相談をご希望の方

相談を希望される方は、受付で「緩和ケア相談を受けたい。」とお申出ください。日程を調整の上、後日、面談させていただきます。

感染管理認定看護師 田中 治美



患者さんや職員など、病院出入りするすべての人々を感染から守るために、様々な場面の感染対策に取り組んでいます。

令和4年度から、感染制御室が設置され、院内外の感染制御のための活動に専念しています。

院内でのとりくみ

感染状況の把握、感染対策の実施・評価に加え、全職員対象の研修会を実施しています。

地域でのとりくみ

県や保健所、近隣医療機関と連携し、各施設における感染対策の支援や出前講座を実施しています。

感染対策でお困りの方

施設にお伺いして、それに合った感染対策を考えさせていただきます。

また、必要に応じて、研修会や出前講座を実施させていただきます。

- 対象：医療機関、幼稚園、保育園、学校、老人会等
- 相談内容：「施設内の感染対策に悩んでいる」「施設内で感染対策の必要性を周知したい」など

■ 職業体験

キャリア教育の一環として、医療職に興味のある妙寺中学校2年生11人が当院を訪問しました。外来エリアの各部署を回り、薬剤師、検査技師、放射線技師、理学療法士、事務職員から仕事内容に関する話を聞いてもらいました。

また、感染管理認定看護師による指導のもと、新型コロナウイルス感染症患者さんと接する際に着用する防護服の着脱を行い、フル装備をした状態で動いたりしゃべったりするのはどれだけ大変であるかを体感していました。

学生さんからは「看護師さんの大変さがわかりました。」「いつも地域住民の健康を守ってくれてありがとうございます。」との感想がありました。

この日の経験を通じて、将来ひとりでも多くの子が医療職に就いてくれることを願っています。



■ 令和4年度医学教育等関係業務功労者表彰の受賞

当院看護師の鈴木廣恵が、令和4年度医学教育等関係業務功労者表彰を受賞しました。この表彰は、大学における医学・歯学に関する教育・研究・患者診療等に係る業務に長年従事し顕著な功績のあった者に対し授与されるものです。

また、全国の受賞者を代表して文部科学省で謝辞を述べさせていただきました。

